

誰にも言えませんでしたでしたが  
気になっていました。

～ペットのお口の健康が気になるオーナーさんに～



デンタルケアは、オーナーさんの役割です。

犬・猫にとっても、お口の健康維持はとても大切です。  
デンタルケアをビルバックはご提案いたします。



株式会社ビルバックジャパン

# HOME CARE

ホームケア

愛犬ともっと上手に付き合うための  
デンタルケア①



# デンタルケアは、 毎日の習慣!!

愛犬の歯と全身の健康のために。

しつけ

(信頼関係の構築・愛犬のストレス発散・破壊行動の予防など)のために。

人への二次感染予防のために。

## もくじ

犬の食べること、噛むことの習性		03
噛むもの(デンタルガム)を与える効果		05
歯みがきをもたらすさまざまな効果		09
人間への二次感染予防		15
日頃のチェック		17

はじめに

動物福祉の5原則にあるように、動物がその種の動物らしく生きることは彼らの権利です。また、愛犬が生き生きと幸せに暮らす姿を見ることは飼い主の幸せでもあります。犬らしい生活とは、同種動物である犬とのふれあいや、獲物を探し、追いかけて、捕まえて食べるというような犬本来の捕食本能が満たされた生活と言えるでしょう。ペットである犬は実際に獲物を捕るということではできませんが、これらの本能は散歩やおもちゃを使った遊び、噛むものを与えるなどして満たすことができます。これはストレス発散にも役立ち、破壊行動や退屈から来る無駄吠えなどの問題行動を減らす効果もあります。また子犬の時期に問題行動を起しにくい環境を作ることにより行動を発達させる効果もあります。高齢になっても飼い主と楽しく遊ぶ習慣がある犬は若々しく、生き生きとしています。

同時にデンタルガムなどの噛むものを与えることは犬の歯の健康のためにも有効です。犬には虫歯はまれですが歯周病には非常にかかりやすく、歯周病を予防することが元気で長生きする秘訣とも言えます。ところが子犬の時期にガムなどを噛む経験を持たずに成長してしまうと、成犬になってから与えても興味を示さないということも少なくありません。したがって何でも噛む習性のある子犬の時期からデンタルガムを噛む習慣をつけておくことが大切です。

ただし、デンタルガムを噛むだけでは全ての歯を健康に保つことは難しいので、同時に歯磨きをすることも大切です。歯磨きをする利点は、歯の健康はもちろん、何よりも犬と飼い主がよりよい関係を築き上げることが出来る点です。歯磨きをするためには、飼い主は犬の口を自由に触る必要があり、犬は最大の武器である歯を飼い主にゆだねることになります。ゆったりとした気持ちで歯磨きをする日課は犬との信頼関係の構築にも役立ちます。

さあ今日からデンタルケアを通して、犬との楽しい生活を築きましょう!

### 動物福祉の5原則

- ① 飢えと乾きからの自由
- ② 不快からの自由
- ③ 苦痛、負傷、疾病からの自由
- ④ 恐怖と抑圧からの自由
- ⑤ その動物らしく自然な行動をする自由

監修  
もみの木動物病院(神戸市)  
獣医師 村田 香織

## 犬の食べること、 噛むことの習性

イヌ科の動物は自然界では肉食が主体であり、生きていくために捕食します。捕食行動はまず嗅覚を使って獲物を探すところから、獲物を見つけ、追いかけて、捕まえ、殺し、引き裂いて食べるということで完結します。自然界では、歯はこのうち捕まえて殺し、引き裂いて食べるという部分で使われます



※野生のオオカミが獲物を捕獲している図

追跡



捕獲



噛む、引き裂く



食べる



起きている時間のほとんどを  
食べることに費やす。



ペットオーナーが容器に  
フードを入れる



食べる



歯を使うことなく、数分で終了。  
退屈な時間を過ごす。

ペットである犬は、食器に入れられた小さなドッグフードの粒をほとんど歯を使うことなく飲み込み、わずかに数分で食事の時間が終わります。

そして残されたほとんどの時間を退屈して過ごすことになるのです。その結果犬は、いたずらや飼い主の気を引くための行動が目立つようになり、さらには肥満に陥りやすくなります。また歯を使う機会がないため、歯垢歯石がたまりやすく歯周病にも陥りやすくなります。歯周病は、口の中の不快感や痛み、口臭の原因になるばかりか、血流を介して細菌が腎臓、肝臓、心臓など全身の臓器に運ばれて悪影響を及ぼし、犬のQOL(生活の質)を著しく低下させます。

## 噛むもの(デンタルガム)を 与える効果

### 1 歯の健康のために。

噛むものを与えることは、犬の歯の健康のために有効です。噛むことで歯の表面をこすり、物理的に歯垢を取り除くことができるからです。ただし、与えるものの種類によっては歯を逆に傷つけてしまう場合もあるため、注意が必要です。

! : 適度な固さがあり、薄い形状のデンタルガムが最適です。



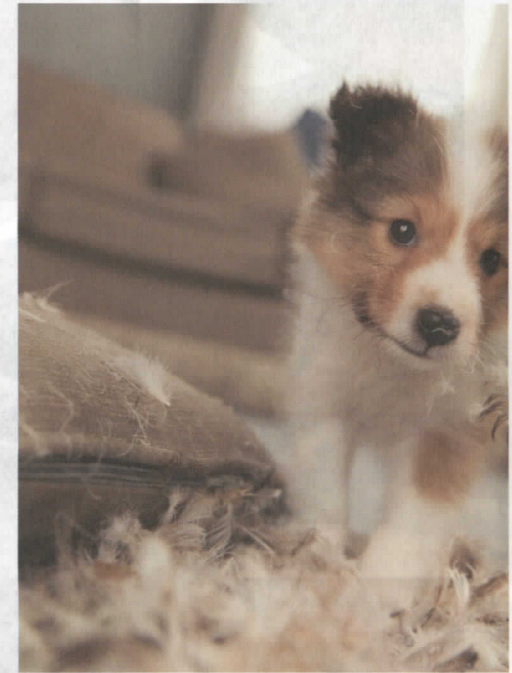
### 2 愛犬のストレス発散。

犬らしい生活である動くものを探し、追いかけて、捕まえ、引き裂くという捕食行動の一部を満足させます。



### 3 困った行動 (破壊行動など)の予防。

噛む習性のある子犬の時期からデンタルガムに慣れ親しませておき、かつ不適切なものに触れることが出来ない環境作りを行うことで、破壊行動を減らすことができます。



噛むもの(デンタルガム)を



デンタルケアは、健康への第一歩です。

すばしき飲み飲杯歯  
果飲



# 歯みがきをもたらす さまざまな効果

## 1 歯の健康のために。

デンタルガムを噛む習慣をつけておけば、歯垢・歯石の付着を減らすことができますが、残念ながら完全なデンタルケアではありません。そこで、ペットオーナーが目で見て確認しながら歯をみがくという習慣が必要です。歯みがきは、子犬の時から習慣づけましょう。



発見された歯の異常(乳歯の残存)



デンタルケアを怠った結果、  
歯石が付着し歯周病に陥った犬。

## 歯みがきをもたらす さまざまな効果

### 2 愛犬との信頼関係を築く。

歯みがきをするためには、ペットオーナーは犬の口を自由に触れることができなければなりません。犬の最大の武器である歯をペットオーナーにゆだねるという行為には信頼関係が必要です。



## 歯みがきがもたらす さまざまな効果

歯みがきのために必要なマズルコントロール



自然界では…

★ リーダーが、下位のオオカミを叱る時にマズル(口吻)を口に入れる行為を行う。



自然界では…

★ 子供のオオカミが親の口を舐めると、食べたものを吐き出して子供のオオカミに与える。

## マズルコントロール

オオカミの習性を真似て、人が犬のマズルを持つことをマズルコントロールといい、犬のしつけに利用されることがあります。  
しかし、犬と人との間に信頼関係が構築されていなければ、犬は不安や恐怖から攻撃的になる場合があるためおすすめできません。  
ただし、歯をみがくためには口を自由に触れられるようにならなければいけないので、犬が口を触ることを喜んで受け入れるように練習しましょう。

※マズルコントロールの仕方は、Vol.2 Step1を参照して練習しましょう!!

マズルを持つ時はやさしく持ちましょう。



自分のマズル(=最大の武器)をゆだねるこれらの行為は、信頼関係によって成り立っています。

## 人間への 二次感染予防

犬の口腔内を清潔に保つことは、舐められたり、万が一咬まれても、パストツレラ症をはじめとする人への感染症のリスクを軽減することができます。



デンタルケアを怠ると、歯に歯垢や歯石が付着します。  
ここには細菌が棲みついています。



咬まれた手(写真右側)が腫れている



## ✓ 日頃のチェック

個体差はありますが、乳歯は生後3ヶ月頃から生後6ヶ月頃にかけて永久歯に生え変わります。通常永久歯が生えてくると、乳歯は抜けますが、その際、乳歯が抜けずに永久歯が並んで生えてくることがあります。(P.10 写真上)このような場合、放置をしておくと、咬合不正や歯周病の原因になる場合がありますので、乳歯を抜いてあげる必要があります。



日頃からの歯みがきと同時に口の中をチェックする習慣をつけ、異常を見つけたら早めに獣医師に相談しましょう。

## MEMO

Handwritten notes on lined paper, including the word "MEMO" and some faint, illegible text.